

別紙1 参考様式

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	直近の更新年月日
御船町	藤木	R4. 3. 9	R3. 3. 31

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積（a）	616
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	470
③地区内における70歳以上の農業者の耕作面積の合計	273
i うち後継者がいる農業者の耕作面積の合計	3
ii うち後継者がいない農業者の耕作面積の合計	271
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計 （備考）	0

2 対象地区の課題

耕作者の高齢化が進んでおり、個人での営農や手のかかる作物の栽培が難しい状況にある。中山間地であるため、圃場間の高低差が大きく、草切り等の圃場管理に多大の労力が掛かってしまう。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

今後は、米価の下落が進むことが予想されるため、米以外の作目についても考えていく必要がある。また、個人での農地の維持・管理が高齢化のため難しくなることを考えると、組織化を視野に入れていかなければならない。  
今後の後継者や若手の確保のためにも圃場の整備は必要となってくるが、個人負担での整備だけでは限界があるため、補助事業など、使えるものは積極的に活用していく。

（参考）中心経営体

中心経営体数	現状の耕作面積	農地の引き受けの意向
12人	470 a	470 a